

音 楽

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	小学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	小学生の音楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材や学習目標等の示し方	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
		② 歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫	歌唱教材の扱いの具体例
		③ 器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫	リコーダーの学習の具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例
		⑤ 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫	音や音楽と生活との関わりについての記述
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
		⑦ 題材や資料等の配列	表現領域における系統的な扱い
(エ)	内容の表現・表記	〔共通事項〕の指導を充実させる工夫	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫
(オ)	言語活動の充実	表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	① 題材や学習目標等の示し方
方法	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例

第3学年における旋律や変化等を扱った鑑賞の題材	
題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の表記の仕方 「せんりつと音色」として、見開き左上に縦書きで示している。 ○ 学習目標の表記の仕方 「せんりつのへん化をきき取りながらバイオリンのえんそうを楽しもう」と横書きで示し、「せんりつ」「へん化」「バイオリン」の文言には色が付いている。 ○ 学習目標達成のための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の見通しを示す文として、目次の次の見開きページに掲載している「学習マップ」の中に、写真、題材名とともに「せんりつの流れや、楽きの音色のとくちょうに注目してききます。」と示している。 ・児童の気付きを引き出す支援として、「まなびナビ（学び方を知ろう）」のマークを付け、「せんりつの流れに合わせて、手や体を動かしながらきいてみよう。せんりつの感じは、どのようにかわっていくかな。」「バイオリンの音色を味わってきこう。」と示すとともに、旋律の流れや、手や体の動きの例等をイラストで示している。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の表記の仕方 「せんりつのとくちょうをかんじとろう」として、見開き左側に縦書きで示している。 ○ 学習目標の表記の仕方 「せんりつの音の上がり下がりにつけてききましょう。」と横書きで示している。 ○ 学習目標達成のための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の見通しを示す文として、題材の始めのページの見開き左側に「せんりつの音の上がり下がりにつけて、歌ったりえんそうしたり、きいたりすることができるかな。」と縦書きで示している。 ・児童の気付きを引き出す支援として、「見つける」「考える」のマークを付け、「せんりつの音の上がり下がりにつけて、アとイのせんりつをききましょう。それぞれどのようなとくちょうがありますか。」「せんりつのとくちょうについて友だちと話し合い、それらをふりかえりながら、ア→イ→アを通してききましょう。」と示している。また、イラストの吹き出しの中に、「音楽に合わせて、主なせんりつの図形を指でたどって、アとイのせんりつをくらべてみようかな。」と示すとともに、旋律の流れをイラストで示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	歌唱教材の扱いの具体例

歌唱教材「ゆかいに歩けば」(第4学年)の扱いの具体例	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材における扱い ○ 学習目標及び音楽を形づくっている要素 ○ 歌詞 ○ 速度 ○ 記号の扱い ○ 合唱の扱い ○ 発声の扱い
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「曲に合った歌い方」の中の歌唱教材として扱っている。 ○ 学習目標「ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「せんりつ」「音色」を示している。 ○ 1、2番 ○ ♩=116 ぐらい ○ 楽曲で習得する記号について、見開き右側に示している。 ○ ア イに分かれイの部分が二部合唱になっている。 ○ 歌っている姿の写真を掲載し、歌い方のポイントを示している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>歌声 おなかを使って歌おう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・かたを楽にして、おなかに手を当てながら歌ってみよう。 ・「ゆかいに歩けば」の前半の部分をピ、ポ、マなどの言葉で、歌ってみよう。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」の中の歌唱教材として扱っている。 ○ 学習目標「せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「音色」「せんりつ」「強弱」を示している。 ○ 1、2、3番 ○ ♩=116～126 ○ 楽曲で習得する記号について、「がくふマスター」と題した四角の中に示している。 ○ ア イに分かれイの部分が二部合唱になっている。 ○ 歌い方のポイントを示している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>歌声ルーム2</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「バルデリー」「バルデラー」「バルデロー」のように、のばす音のところでは、どんだん息をふやす感じで、声が体からわき上がるように歌いましょう。また、スタッカートのところは、おなかのまわり全体の動きを感じて、わらったときのようにはずんで歌いましょう。

【音楽】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	リコーダーの学習の具体例

		リコーダーの学習の具体例 (第3学年及び第4学年)
教 出	○ リコーダーの導入 (第3学年)	・リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く→リコーダーの種類を知る→リコーダーの演奏の仕方を知る→「シ」の音を吹いたりタンギングしたりする
	○ 学習する音の順番	・第3学年：シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ ・第4学年：ミ→ド→ソ
	○ 運指の説明	・第3学年の導入や「ド」「レ」では、演奏の仕方の様子を、子供の目線や横から見た写真等で示している。 ・階名、五線譜、吹き口を下側にした、子供の目線でのリコーダーのイラストを示している。 ・二次元コードを掲載し、運指に関わるコンテンツを表示することができるようにしている。
	○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明	・「大きなしゃぼん玉をつくるようなように、息をまっすぐに出そう。」と示している。 ・第3学年の導入で、タンギングを「トゥ」「ル」、また、第4学年で、高い音をきれいに響かせるために「ティ」と発音するよう説明している。 ・第4学年で、サミングの2つの方法を写真と言葉で説明している。
教 芸	○ リコーダーの導入 (第3学年)	・リコーダーのつくりや各部の名称を知る→ヘッド ピースで音あそび(参考曲を聴く)→リコーダーの演奏の仕方を知る→鑑賞曲を聴く→タンギングと息の使い方を知る→「シ」の音を吹いたりタンギングしたりする
	○ 学習する音の順番	・第3学年：シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ→ド ・第4学年：ミ→ファ→ソ
	○ 運指の説明	・第3学年の導入や「レ」では、演奏の仕方の様子を、子供の目線や横から見た写真等で示している。 ・階名、五線譜、吹き口を下側にした、子供の目線でのリコーダーのイラストを示している。 ・二次元コードを掲載し、運指に関わるコンテンツを表示することができるようにしている。
	○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明	・「大きなしゃぼん玉をつくるようなつもりで、やさしく息を出してふこう。」と示している。 ・第3学年の導入で、タンギングを「tu(トゥ)」、また、第4学年で、高い音を吹く時には「ti(ティ)」と発音するよう説明している。 ・第4学年で、サミングの2つの方法を写真と言葉で説明している。

【音楽】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方法	音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例

		第1学年
		具体例
	音楽づくりに関する 学習過程等の示し方	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習過程の示し方 ○ リズムの例の示し方 ○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫 	<p>題 材「はくと リズム」 学習目標「たんと たたの リズムで あそぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まねっこ あそび」 せんせいが うつ リズムを、みんなで まねっこして うとう。 はく に あわせて、うって いこう。 せんせいの やくを こうたいしても いいね。 ・「よびかけっこ あそび」 せんせいが うつ リズムと、べつの リズムを うって みよう。 ・「リレー あそび」 1 たん たた うん を くみあわせて、はく よつつぶんの リズムをつくろう。うって ためしながら つくってね。 2 つくった リズムを、ともだちと つなげて うって、リレーしよう。 ・「リズムを がっきで うっても いいね。」 (タン布林、すず、カスタネット) <ul style="list-style-type: none"> ○ リズムを「たん＝円」「たた＝半円」「うん＝ひし形」と示すとともに、5つのリズムの例を示している。 ○ 音遊びの活動を、題材の導入に位置付けている。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習過程の示し方 ○ リズムの例の示し方 ○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫 	<p>題 材「はくに のって リズムを うとう」 学習目標「たん と たたを つかかって ことばで リズムを つくりましょう。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あと いの リズムに あう ことばを うえの えから 1つずつ えらびましょう。 せんせいの うつ はくに のって、えらんだ ことばを いいましよう。 ことばに あわせて、あと いの リズムを て(手のイラスト)で うちましよう。 2 おなじ ことばを くりかえしたり ちがう ことばを くみあわせたり して できる リズムの おもしろさを たしかめましよう。(「みつける」のマーク) 3 どの ことばで つくると おもしろい かんじの リズムになるか かんがえて つくりましよう。(「かんがえる」「つくる」のマーク) 4 ふたりの くみに なり、つくった リズムを つなげましよう。 <ul style="list-style-type: none"> ○ リズムを「たん＝円(黒)」「たた＝半円」「うん＝円(白)」と示すとともに、言葉とともに5つのリズムの例を示している。 ○ 音遊びの活動を、題材の導入に位置付けている。

【音楽】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
方法	音や音楽と生活との関わりについての記述

音や音楽と生活との関わりについての記述	
教出	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 がつき ずかん：「がつきを つくって みよう」</p> <p>第2学年 音の スケッチ：「どんな 音が きこえるかな」 題材：「おまつりの 音楽」</p> <p>第3学年 音のスケッチ：「いろいろな声で表げんしよう」 題材：「日本と世界の音楽」</p> <p>第4学年 巻頭：「体で伝え合おう！音楽の楽しさ」 題材：「日本と世界の音楽」 歌唱教材との関わり：「わたしたちの生活と音楽」</p> <p>第5学年 巻頭：「舞台から未来へ」 題材：「日本の音楽」</p> <p>第6学年 巻頭：「ひびきに心をのせて」 歌唱教材との関わり：「海を思う心」 特集：「心と心をつなぐ音楽」</p>
教芸	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 題材：「みの まわりの おとに みみを すまそう」</p> <p>第2学年 題材：「音楽で みんなと つながろう」 題材：「せいかつの 中に ある 音を 楽しもう」</p> <p>第3学年 巻頭：「ようこそ リコーダーの世界へ」 題材：「ちいきにつたわる音楽でつながろう」 鑑賞教材との関わり：「神田囃子ほぞん会立野喜久雄さんのお話」</p> <p>第4学年 巻頭：「気持ちを歌でとどけましょう」 題材：「ちいきにつたわる音楽に親しもう」</p> <p>第5学年 巻頭：「音楽と社会をつなぐテクノロジー」 鑑賞教材との関わり：「仙台フィルハーモニー管弦楽団バイオリン奏者神谷未穂さんのお話」 題材：「日本の音楽に親しもう」</p> <p>第6学年 巻頭：「音楽は人間の命の一部です」 特集：「著作権について知ろう」 特集：「音楽のもっている力や役割」 歌唱教材との関わり：「卒業に思いをこめて」</p>

【音楽】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材

		学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
教 出	1	鑑賞曲	・わらべうた（「おちゃらか」「なべ なべ」）
		歌唱教材	・共通教材：「ひらいた ひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」
	2	鑑賞曲	・「ながうた「むしの 声」 ・日本の たいこ（「つがるじょっぱりだいこ」「さんさおどりの たいこ」「ご じんじょだいこ」「はちじょうだいこ」）
		和楽器	・たいこ
		歌唱教材	・共通教材：「かくれんぼ」「虫の こえ」「夕やけ こやけ」「春が きた」 ・「村まつり」
	3	鑑賞曲	・日本や世界の子ども歌（「十五夜さんのもちつき」）
		歌唱教材	・共通教材：「春の小川」「茶つみ」「うさぎ」「ふじ山」
	4	鑑賞曲	・「さくら変そう曲」 ・「ソーラン節」 ・「秩父屋台ばやし」 ・「葛西ばやし」
		和楽器	・こと ・しめだいこ ・大だいこ（長どうだいこ） ・ふえ ・かね ・おおどう ・つけだいこ
		歌唱教材	・共通教材：「さくら さくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」 ・「ソーラン節」
	5	鑑賞曲	・「会津磐梯山」 ・「音戸の舟歌」 ・「津軽じょんから節」 ・「花笠音頭」 ・「日光和楽おどり」 ・「磯節」 ・「郡上八幡の盆踊り」 ・「佐渡おけさ」 ・「金毘羅舟々」 ・「木曾節」 ・「三国節」 ・「ひえつき節」 ・「長唄「越後獅子」から」 ・「京の夜」
		和楽器	・こきりこ ・ささら ・三線 ・しの笛
		歌唱教材	・共通教材：「こいのぼり」「子もり歌」「冬げしき」「スキーの歌」 ・「こきりこ節」 ・「谷茶前」
	6	鑑賞曲	・「春の海」
		和楽器	・こと ・尺八 ・雅楽の楽器（ふき物、ひき物、打ち物） ・三味線
		歌唱教材	・共通教材：「おぼろ月夜」「われは海の子」「越天楽今様」「ふるさと」

【音楽】

	学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材	
教 芸	1	鑑賞曲	・「さんちゃんが」 ・「おおなみ こなみ」
		歌唱教材	・共通教材：「ひらいた ひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」 ・「おちやらか ほうい」
	2	鑑賞曲	・「とーしん ドーイ」 ・「ずいずい ずっころばし」 ・「あんたがた どこさ」 ・「なべ なべ そこ ぬけ」
		歌唱教材	・共通教材：「かくれんぼ」「虫の こえ」「夕やけこやけ」「はるが きた」
	3	鑑賞曲	・「神田囃子「投げ合い」」 ・「祇園囃子」 ・「ねぶた囃子」
		和楽器	・長胴だいこ ・しめだいこ ・かね ・しのぶえ
		歌唱教材	・共通教材：「春の小川」「茶つみ」「ふじ山」「うさぎ」
	4	鑑賞曲	・「こきりこ」 ・「アイヌ古式舞踊」 ・「西馬音内の盆踊」 ・「相模里神楽」 ・「那智の田楽」 ・「壬生の花田植」 ・「讃岐獅子舞」 ・「長崎くんちの龍踊」 ・「こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より」 ・「津軽じょんから節」 ・「ていんさぐぬ花」
		和楽器	・こきりこ ・びんざさら ・たいこ ・笛 ・ぼうささら ・くわがね ・つづみ ・こと ・三味線 ・三線
		歌唱教材	・共通教材：「さくら さくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」
	5	鑑賞曲	・「春の海」 ・「ソーラン節」 ・「かりぼし切り歌」 ・「江差追分」 ・「宮城長持歌」 ・「佐渡おけさ」 ・「網のし歌」 ・「鈴鹿馬子歌」 ・「音戸の舟歌」 ・「祝いめでた」 ・「牛深ハイヤ節」 ・「月ぬ美しゃ」
		和楽器	・こと ・尺八
		歌唱教材	・共通教材：「こいのぼり」「冬げしき」「スキーの歌」「子もり歌」
	6	鑑賞曲	・雅楽「越天楽」
		和楽器	・笛 ・小鼓 ・大鼓 ・太鼓 ・太棹三味線 ・細竿三味線 ・三線
		歌唱教材	・共通教材：「おぼろ月夜」「ふるさと」「われは海の子」「越天楽今様」

【音楽】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材や資料等の配列
方法	表現領域における系統的な扱い

	表現領域における 系統的な扱い	楽曲名及び楽器名
教 出	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二部合唱曲（部分合唱含む） 第2学年：「春が きた」「ラララ 歌おう」 第3学年：「ドレミの歌」「この山光る」「マンガニ、雨とおどろう」「音楽のおくりもの」「まっかな秋」 第4学年：「ありがとうの花」「ブパポ」「ゆかいに歩けば」「もみじ」「グッデー グッバイ」「半月」「北風こぞうの寒太郎」「まきばの こうし」「飛べよツバメ」「札幌の空」「さんぽ」 第5学年：「夢色シンフォニー」「花」「ハロー・シャイニングブルー」「地球の向こう側の君へ」「冬げしき」「スキーの歌」「君をのせて」「川はだれのもの？」「大切なもの」「ゆき」「Auld Lang Syne（ほたるの光）」 第6学年：「つばさをください」「ぼくらの日々」「明日を信じて」「ふるさと」「Take Me Home, Country Roads」「さようなら」「語りあおう」「すてきな友達」「未来への讃歌」「あおげばとうとし」「花は咲く」「野にさく花のように」 ○ 三部合唱曲（部分合唱含む） 第5学年：「花のおくりもの」「Michael, Row the Boat Ashore（こげよマイケル）」 第6学年：「ロック マイ ソウル」「チャウエ チチョー チェム チェロ」「今、生きている！」「Climb Ev'ry Mountain（すべての山に登れ）」
	楽器・音楽づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器 ・第1学年：タンブリン、すず、カスタネット、けんばんハーモニカ、トライアングル、シンバル、ハーモニカ、おおだいこ、こだいこ、てっきん、もっきん ・第2学年：ウッドブロック、クラベス、たいこ、オルガン、マラカス、ギロ、グロッケン、ビブラフォーン、マリンバ ・第3学年：リコーダー、カウベル、クラベス ・第4学年：しめだいこ、大だいこ（長どうだいこ）、ふえ、かね、シェーカー、アゴゴ、フロアトム、こと、ボンゴ ・第5学年：こきりこ、ささら、三線、しの笛
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合奏曲の配列 ・第2学年：「汽車は 走る」「チャチャ マンボ」「アンダルコの 歌」 ・第3学年：「メロンの気持ち」「せいじゃの行進」「パフ」「ミッキーマウス マーチ」 ・第4学年：「ラ クンパルシータ」「魔法のすず」 ・第5学年：「茶色の小びん」「風とケーナのロマンス」「ルパン三世のテーマ」「レッツゴー!!ライダーキック」 ・第6学年：「マルセリーノの歌」「カノン」「L - 0 - V - E」「ウェンセスラスはよい王様」「八木節」「さんぽ」

【音楽】

	表現領域における 系統的な扱い	楽曲名及び楽器名	
教 芸	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年から部分二部合唱を導入し、第4学年から二部合唱を導入している。 ○ 第5学年から三部合唱を導入している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二部合唱曲（部分合唱含む） <ul style="list-style-type: none"> 第3学年：「歌おう 声高く」 第4学年：「いろいろな木の実」「ゆかいに歩けば」「もみじ」「いつだって!」「世界を旅する音楽室」「花束をあなたに」「Sing a rainbow」 第5学年：「Believe」「すてきな一歩」「いつでもあの海は」「夢の世界を」「冬げしき」「スキーの歌」「それぞれの空」「地球へ」「君は虹を見たかい?」「大空がむかえる朝」「ほたるの光」 第6学年：「つばさをください」「ペガサス」「おぼろ月夜」「思い出のメロディー」「きっと届ける」「Wish～夢を信じて」「いのちの歌」「明日という大空」「星空はいつも」「あおげばとうとし」「旅立ちの日に」 ○ 三部合唱曲（部分合唱含む） <ul style="list-style-type: none"> 第5学年：「こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore)」「マイ バラード」 第6学年：「星の世界」「ふるさと」「街にだかれて」
	器楽・音楽づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：カスタネット、タンブリン、けんぼんハーモニカ、トライアングル、すず、ウッドブロック、てっきん ・第2学年：クラベス、小だいこ、大だいこ、オルガン、キーボード、木きん ・第3学年：リコーダー、ギロ、しめだいこ ・第4学年：マラカス、ボンゴ、コンガ、フレームドラム、トーンチャイム、シンバル、こと ・第5学年：サスペンデッドシンバル、カバサ、カウベル、アゴゴ
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合奏曲の配列 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：「こいぬの マーチ」 ・第2学年：「こぐまの 二月」「アイアイ」 ・第3学年：「ゆかいな木きん」「パフ」「エーデルワイス」「ミッキーマウス マーチ」 ・第4学年：「茶色の小びん」「ジッパ ディー ドゥー ダー」「スーパーカリフラジリスティックエクスペリアリドーションヤス」 ・第5学年：「リボンのおどり」「キリマンジャロ」「威風堂々」「アフリカン シンフォニー」 ・第6学年：「ラバーズ コンチェルト」「雨のうた」「木星」「風を切って」「Paradise Has No Border」

【音楽】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧ [共通事項] の指導を充実させる工夫
方法	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫

	音楽を形づくっている要素の示し方	体を動かす活動を取り入れて、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き右ページ上に「音楽のもと」として示し、中・高学年にはメモ欄がある。 ○ 資料として、[共通事項] の内容を、「音楽のもと」まとめ」に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱「ふじ山」(第3学年) <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「せんりつのリズムを手で打つなどして、♪. ♪♪」のリズムで始まるだんとそうでないだんを見つけよう。」「それぞれのだんの、せんりつの流れを手で表してみよう。」と示している。 ○ 鑑賞「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」(第6学年) <ul style="list-style-type: none"> ・「まず、せん律の流れに合わせて手などを動かしたり、楽器のひきまねをしたりしながら、曲の最初の部分をきいてみよう。」と活動を示すとともに、「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「楽器を決めてひきまねをしたりしながら、曲全体をきいてみよう。」と示している。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き右ページ下に示している。 ○ 「ふり返りのページ」に、各学年で学習した音楽を形づくっている要素を、関連するページ番号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌唱「ふじ山」(第3学年) <ul style="list-style-type: none"> ・イラストの吹き出しの中で「いちばん高い音はどこにあるのかな。楽譜のせんりつを指でたどって見つけてみよう。」と示している。 ○ 鑑賞「ハンガリー舞曲 第5番」(第6学年) <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」のマークを付け、「下の注目するポイントに気を付けて、音楽に合わせて体を動かしたり指揮のまねをしたりしながらきき、アとイの曲想について、感じたことや気付いたことを下の表に書いて、話し合ひましょう。」と示している。

(注) [共通事項] とは、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解したり、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えたりすることができるようにするものである。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫
方法	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

		音楽科の特質に応じた言語活動の具体例	
教出	表現	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定 ・音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面の設定 	<p>題 材「アンサンブルのみりょく」(第6学年)</p> <p>学習目標「思いや意図を大切にしながら、みんなで表現をくふうしよう」</p> <p>教 材 曲「ぼくらの日々」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付けて学習過程を示し、①「どんな曲かな?曲のみりょくを見つけよう。」の中で「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」と示している。⑤「自分たちの表現をめざそう。」では、「演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、「もっとこうしたいな」と思うところを話し合おう。」と示している。 ・学習過程⑤「自分たちの表現をめざそう。」において、「たがいによくきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルにするために、いろいろためしてみよう。〈例〉パートどうしの音量のバランスなど」と示している。
	鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面の設定 ・自分の感じ方や考え方を深めていく場面の設定 	<p>題 材「音楽のききどころ」(第4学年)</p> <p>学習目標「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」</p> <p>教 材 曲「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話しよう。」と示している。 ・きき取ったことや音楽の感じ等を記入する表を掲載している。 ・「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」と示している。

【音楽】

		音楽科の特質に応じた言語活動の具体例	
教 芸	表現	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定 ・音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面の設定 	<p>題 材 「詩と音楽との関わりを味わおう」(第6学年)</p> <p>学習目標 「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。」</p> <p>教 材 曲 「ふるさと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」のマークを付け、「歌詞をよく読み、曲想を感じ取りながら歌って、それらの特徴について気付いたことを話し合ひましょう。」と示している。 ・「考える」のマークを付け、「話し合ったことをもとに、歌い方をためししながら、「ふるさと」をどのように歌いたいかを考えましょう。」と示している。 ・「歌う」のマークを付け、「思いが伝わるように、発音の仕方や声の出し方に気を付けて、たがいの歌声をよくきき合ひながら歌いましょう。」と示している。
	鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面の設定 ・自分の感じ方や考え方を深めていく場面の設定 	<p>題 材 「せんりつの重なりをかんじとろう」(第3学年)</p> <p>学習目標 「せんりつの重なりを楽しみながら、きいたり歌ったりしましょう。」</p> <p>教 材 曲 「「アルルの女」第1組曲から かね」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考える」のマークを付け、「アとイのかんじのちがいや気づいたことをメモし、友だちとつたえ合ひましょう。」と示し、「かんじたこと」と「気づいたこと」を書くための表を掲載している。 ・「考える」のマークを付け、「せんりつが重なるよさやおもしろさのかんじとりながら曲全体をききましょう。」と示している。